



2020年度退職者アルバム紹介

長い間清掃事業に貢献していただきありがとうございますございました

前号で紹介できなかった事業所の退職者アルバムの写真を引き続き紹介する。

アルバムの作成にあたり、多くの方の協力を頂き、この紙面を以って感謝を述べたいと思う。

(教宣部)



川崎市職員労働組合
清掃支部
発行

川崎市川崎区東田町 5-1
市労連会館 4 階
電話 044 (222) 5906
発行責任者 渋谷 勝美
編集責任者 清水 麻之



清掃支部ホームページ
QRコード



堤根処理センター

中原生活環境事業所

宮前生活環境事業所

多摩生活環境事業所

分会だより 中原分会

No.205

く励みになり、より使命感が沸いてきます。

現在も終息が見えない中で、1月から欠員補充で新規採用の新人組合員が1名加わりましたが、コロナ過で、歓送迎会も開けない状況です。昨年の2人の新規採用の組合員も同様に行なえていません。おそらく、定年退職者を送る飲み会も開けない状況なのが、とても残念です。しかし、今後でもコロナに負けず、中原分会団結して共に頑張りましょう。

中原分会の2階職員ロッカー室の入り口に、九十枚ほどの市民からの御礼の手紙が掲示してあります。これは、おもに収集現場に張ってあった物や手渡しされた手紙です。よく、子供たちが収集車に興味を持ってきて、手を振ってくれると、とても微笑ましい気持ちになります。

新型コロナウイルスが流行し、緊急事態宣言が発出された中、我々は市民生活を守るために、ごみ収集を継続して、業務を遂行しなければなりません。そして、感染リスクある状況下で、この、市民からの激励の手紙を頂いて、たいへん心強

浮島処理センター



隣にいる仲間を想う

〜在日外国人と日本人は国籍・

民族を超えていけるか〜

第32回

林慶一

互いを尊重し信じあう

〜避難訓練

図書館で借りた関東大震災における朝鮮人虐殺の記録の本を読み、その凄まじさに震えが止まらなくなつたヨンスは、果たしてこれをどう避難訓練のときに伝えようか悩みました。ちょっと荷が重いな、そう感じました。相談するしかないと思ひ、足立さんのいる総務部を何回か訪ねてみましたが、いつもタイミングが悪く、会えませんでした。ヨンスもマル急(急ぎの仕事)の仕事が続き、数日間はバタバタと過ごしました。

結局、何も進展がないまま当日を迎え、今日こそはと、足立さんをつかまえるため、朝一番に総務部へ出向きました。足立さんは、まるで予想していたようにヨンスを応接室に連れてい

き、椅子に座るよう促しました。ヨンスはこの数日悩んでいたことを正直に伝えました。朝鮮人虐殺の記録の本を読んだこと、その凄まじさに到底耐え切れなくなり伝えることがつらくなくてしまったこと、足立さんに相談しようと思つたが今日まで会えずじまいだったこと、何も準備をしていないこと・・・すると足立さんはそんなことは想定内だというように、「わかっただ。キム君は話さなくていいが、避難訓練は必ず出るように」とだけ言いました。

消火器の使い方訓練、そして総務部長の話がありました。そして本来なら最後に足立さんが業務連絡を兼ねてヨンスにバトンタッチすることになっていました。そのま話し始めました。足立さんは、大震災において犠牲者がたくさん出たこと、犠牲者の中には差

別意識を扇動するデマによって多くの朝鮮人・中国人が亡くなったことを話しました。

「関東大震災は自然災害であると同時に朝鮮人・中国人に対する差別、偏見があつたために起きた悲しい差別事件でもある。自然災害は今後も起こりうるから

備えておかなければならぬが、差別、偏見によるこういった行為は二度と繰り返してはならない」と語り、

「例えば、うちの会社の仲間が会社に火をつけてまわっているといったらみんな信じるか。そんなデマは誰も信じないだろう。少なくとも私はみんなのことをよく知

り、ほかの社員に通じたかどうかともわかりませんが、少なくともヨンスには響きました。ただ頭の中だけで思っているだけでは足りない、伝える術を習得しないとダメだな、と感じ、ヨンスの代わりに話してくれ

(次号へ続く)

直営をさくさくさせる

仲間達 (362)

浮島分会

大山洋二

(おおよまようじ)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

みなさん、こんにちは。浮島分会です。今回ご紹介する仲間は、大山洋二(おおよま ようじ)さんです。26年間取材依頼を断り続け、昨年度退職し、いよいよ再任用職員となつてからの登場となりました。

学生時代から現在に至るまで野球をやっている野球人です。一昨年は還暦野球

の全国大会に出場できたのに、昨年は新型コロナウィルスの影響で、大会も中止になつてしまつたそうです。楽しみにしていた試合後のおいしいお酒を飲めなくなつたことが、非常に残念でならないと、「コロナのバカヤロー!」と叫びながら怒りを露わにしています。

そして今年度は、初めての仕事ばかりなので、一杯だと言いながらも、がんばるぞと張り切っている楽しい先輩です。これから

もよろしくお願いします。

く知っている。よく知っているから信頼している。しかしその人のことをよく知らなければ偏見を持ち、信じることができなくなる。足立さんの話は多少唐突で極端で不自然なところもあり、ほかの社員に通じたかどうかともわかりませんが、少なくともヨンスには響きました。ただ頭の中だけで思っているだけでは足りない、伝える術を習得しないとダメだな、と感じ、ヨンスの代わりに話してくれ